



## 地元の声を県政に届けてまいります

こんにちは。あなたの声で政治は変わる、多様性を力に、支え合う社会をモットーに活動しております千葉県議会議員 安藤じゅん子です。

6月13日から7月9日まで行われた千葉県議会6月県議会報告をお届けします。

「千葉県多様性条例」が施行され、約8ヶ月が経過しました。引き続き県政にしっかりと条例の理念が行き渡るように質疑を重ねていきます。現在パリオリンピックパラリンピック2024が行われています。松戸市や千葉県ゆかりの選手を応援し大いに盛り上がっていきたいですね。

50万まつど市民の声を県政へ、しっかり取り組んでまいります。よろしく願い申し上げます。

## 千葉県の防災対策について孤立集落対策強化等を要望

6月19日に立憲民主党会派を代表して、網中肇議員が代表質問に登壇しました。代表質問では19の項目に関して、当局に答弁を求めました。そのなかから、防災対策についての質疑をお届けします。



### 防災対策について

**質問** 孤立可能性集落について、調査結果はどうだったのでしょうか。今後、どのように対応するのでしょうか？

**熊谷知事答弁** 能登半島地震を受けて、本県も半島という地理的特性を有することから、災害時に孤立する可能性がある集落及びその集落における備蓄等の状況を把握するため、調査を実施いたしました。

その結果、孤立の可能性がある集落が532確認され、当該集落内において、避難が可能な施設が確保されている割合は約38%、備蓄物資の確保状況は、飲料水については約13%、食料は約12%となっています。

集落が孤立した場合には、外部からの救援等が困難となるため、集落内における避難施設の確保や備蓄の強化を行う必要があることから、本調査結果も踏まえ、速やかに6月補正予算を編成し、新たな補助制度を創設することにより、市町村の取り組みを支援することといたしました。

**要望** 引き続き、市町村と連携し孤立可能性集落対策を強化するよう要望します。

**質問** 県内市町村における女性の視点を生かした防災対策を進めるための県の取り組み状況はどうなっていますか？また、今後さらに推進していくべきと考えますがいかがでしょうか？

**熊谷知事答弁** 男女双方の視点に配慮した防災対策を進めるため、平時からの災害への備えや避難所の運営等において、男女共同参画の視点を取り入れた体制を確立する必要があります。

このため、避難所運営の手引きにおいて、避難所運営組織への女性の参画をはじめ、物資の配付やトイレの設置に関する配慮、女性相談窓口の必要性などを示し、女性の視点を生かした防災対策が行えるよう市町村に働きかけているところです。

今後も、市町村の地域防災計画に男女共同参画部局の役割を位置付けるよう促すことや、避難所運営組織

への女性登用が進んでいる事例を紹介するなど、防災対策に女性の視点が活かされるよう取り組んでまいります。

**要望** 県内市町村の状況は、全国と比較して遅れているので、県として必要な助言等を行うよう要望します。

**質問** 長時間の断水を発生させないよう県営水道ではどのように取り組んでいるのでしょうか？

**副知事答弁** 大規模な地震が起きた際に、長時間の断水を発生させないためには、浄水場や管路など、水道施設の強靱化を進めていくことが重要です。

そのため、県営水道では、水道施設の老朽度や重要度等を勘案して耐震化を進めており、特に管路については、東日本大震災で甚大な被害が生じた湾岸埋立地域等を優先して、取り組んでいるところです。

また、長時間の停電に備え、非常用自家発電設備の強化に取り組むとともに、一時的に浄水場や送水機能が停止した場合でも、他の浄水場や給水場から水を融通ができるよう、管路のネットワーク化等を図っています。

今後も、水道施設の耐震化やバックアップ体制の確保に計画的に取り組む、災害に強い水道を構築してまいります。

**質問** 断水を迅速に復旧させていくためには、ハード面の整備だけではなく、技術を継承し、人材を育成することも重要と考えるがどうお考えでしょうか？

**企業局長答弁** 断水を迅速に復旧するためには、被害状況に応じた修繕方法などを的確に判断できる人材を育成することが重要です。

このため、県営水道では、これまでもベテラン職員による漏水箇所など現場での技術指導や、管の接合等の体験型研修を行っておりますけれども、今後は更に能登半島地震で民間事業者と連携して活動した実績につきましても、職員間でしっかりと共有してまいります。



# 7月1日に農林水産常任委員会にて質疑しました

千葉県議会6月定例県議会の農林水産常任委員会における安藤じゅん子の質疑は以下の通りです。

## 炭素貯留効果の高い バイオ炭の積極活用を！

**安藤質問** 県内でバイオ炭の活用状況はどうなっているか伺います。

**環境農業推進課長** バイオ炭の農地への施用は、令和3年10月に策定された国の「地球温暖化対策計画」において、「農地土壌炭素吸収源対策」として位置付けられた新しい技術です。

新たな技術ということもあり、現在のところ、その取り組み状況について、統計的に把握された数字はありませんが、県では、環境保全型農業の取組を支援する国の制度や県の単独事業において農地へのバイオ炭施用の取組に対して助成しています。令和5年度に支援した対象面積は、1.4ヘクタールとなっています。

**安藤質問** 今後、温室効果ガスを固定する、貯める農業を広げていくために、県としてどのように考えているのでしょうか。

**環境農業推進課長** 地球温暖化の防止に向け、農業における温室効果ガスの排出量を削減していくことは重要なことから、県では、先に述べたとおり、国の制度や県の単独事業でバイオ炭を施用する取組に対して助成しているところで。今後とも農地への炭素貯留を推進してまいります。

また、国は、温室効果ガスの排出削減量・吸収量を認証し、取引を可能とするJ-クレジット制度や、環境負荷の低減に取り組みながら生産された農産物を消費者の方が選択できるよう、温室効果ガスの削減への貢献度合いを星の数で表わす「みえるらべる」の活用を推進しております。

県としても、農業者向け研修会など様々な機会に、これらの活用を促していきたいと考えています。

**安藤要望** 県には、グリーントランスフォーメーションを始め、世界のトレンドや国際ルールを注視するとともに、新たな多様なプレーヤーの参画を促せるよう、「ちばにビジネスチャンスあり！」も含めた方向性を示していただけたいと思っています。

## 「酪農発祥の地」千葉県だからこそ 牛乳の消費拡大に向けた取り組みを！

**安藤質問** 牛乳の消費拡大に向けた、県の取り組みはどうなっているのでしょうか？

**畜産課長** 牛乳月間である6月には、1日及び2日に酪農団体と協力してミルクフェスティバルを開催するとともに、県庁内の食堂において牛乳を使用した特別メニューを提供するなど、酪農の理解醸成と牛乳の消費拡大に向けたPRを行ってきたところで。

引き続き、消費が低迷する学校の長期休暇の時期に合わせてPR活動を行うほか、児童・生徒向けの絵手紙や料理コンクールの開催に加え、高齢者福祉施設向けの牛乳料理教室を開催するなど、牛乳の消費拡大に向けて、幅広い年齢層を対象とした取り組みを展開してまいります。

**安藤要望** 日本酪農発祥の地である千葉県を県民に広く周知している「酪農のさと」について、地域や学識に入っただいて、展示や展示内容を更新していただけたら、さら



りに近隣に点在する農林水産観光施設とともに魅力向上につながって、多くの県内外の方々に選ばれる施設になるのではないかと思いますので、是非ご検討をお願いしたいと思います。

## 農家の所得向上に向け助成や補助を！

**安藤質問** 食品衛生法改正を受けて今年6月から漬物の製造販売には、保健所による「営業許可」が必要になりました。厳しい衛生基準をクリアするには、改修費などの負担がかかるため、漬物作りをやめてしまうケースも見られるようです。そこで、伺います。改正食品衛生法による県内直売所等への影響はどうなっていますか。

**農地・農村振興課長** 食品衛生法が改正されたことにより、「漬物製造業」の営業許可の取得が必要となったため、県では、制度改正についての研修会を開催するなど、新たな許可制度の周知徹底を図ってきたところで。

このような中、今年2月、「ちばまるしえキャンペーン」に参加した93の直売所にアンケート調査を行ったところ、回答のあった施設のうち、約7割の施設で漬物を取り扱っており、そこに出荷している農家の約半数が漬物販売のとりやめを考えられていました。

また、漬物販売をとりやめる農家がいる中で、約6割の直売所では、売上や利用者への影響があると回答しています。

**安藤要望** 半数はおそらく高齢でやめるなど、事情もあると思いますが、やはり県内でも影響があります。

需給バランスが崩れた際に廃棄されてしまう農産物など、これらを加工して価値を高めて販売して農家所得の向上にも貢献してきたことを考えると、県には今後、許可制を周知する際に、農家や直売所の要望について市町村とともに丁寧に聞き、県が有している新商品開発補助制度等、活用可能な助成に繋げることも検討していただくようお願いします。

### プロフィール

安藤じゅん子 (立憲民主党千葉県議会議員 松戸市選出)

1976年5月29日生まれ、松戸市立小中学校卒業後、共立女子高校・早稲田大学社会科学部卒業。出版社営業を経て2010年より松戸市議会議員。2015年より千葉県議会議員(現在3期目)

FAX: 050-3488-7708

Eメール: [contact@andojunko.net](mailto:contact@andojunko.net)

ホームページ

<https://andojunko.net/>

X

<https://x.com/andojunko>

ホームページ

